

多様性を受け入れるまちづくり

外国人住民との共生推進

～2019年度外国人住民に関する調査研究結果と今後の取組み～

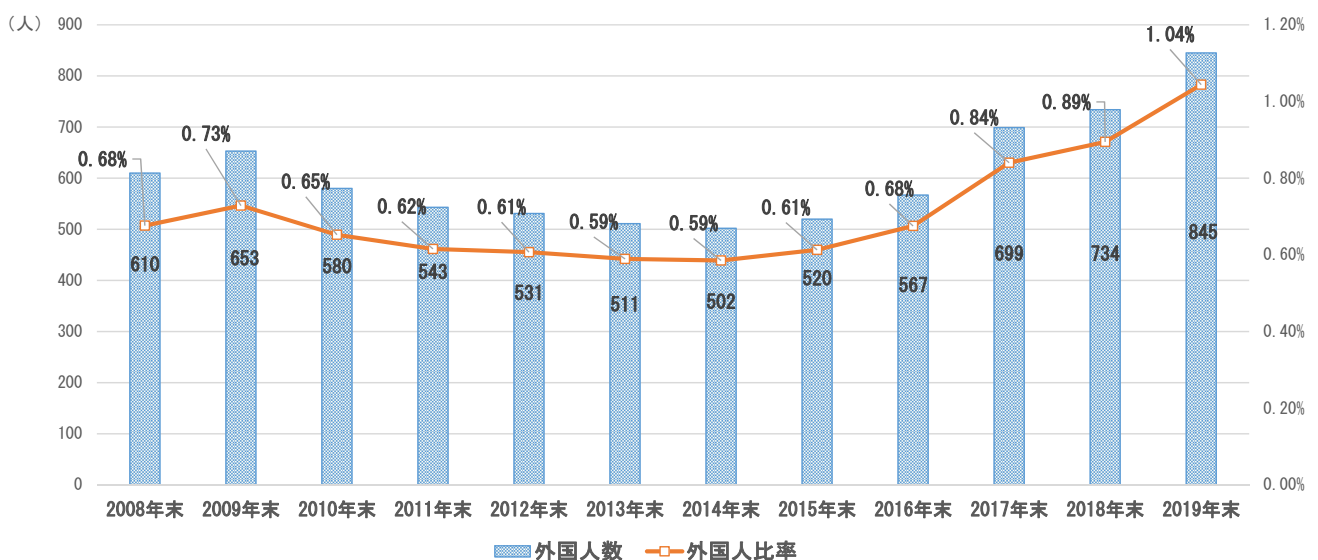
政策調整課



1

1 豊岡市の外国人住民

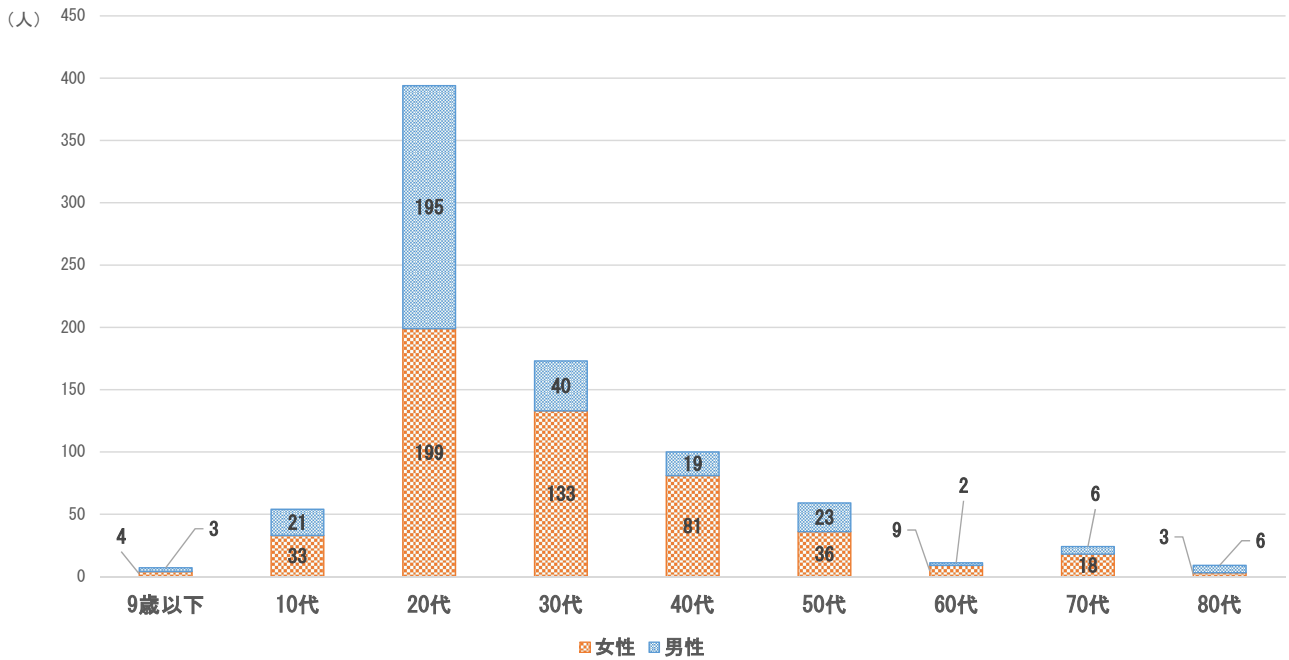
外国人住民数の推移（住民基本台帳）



人口減少が進む一方で、外国人住民は2019年末で845人（人口の約1%）と増加傾向にある。

2

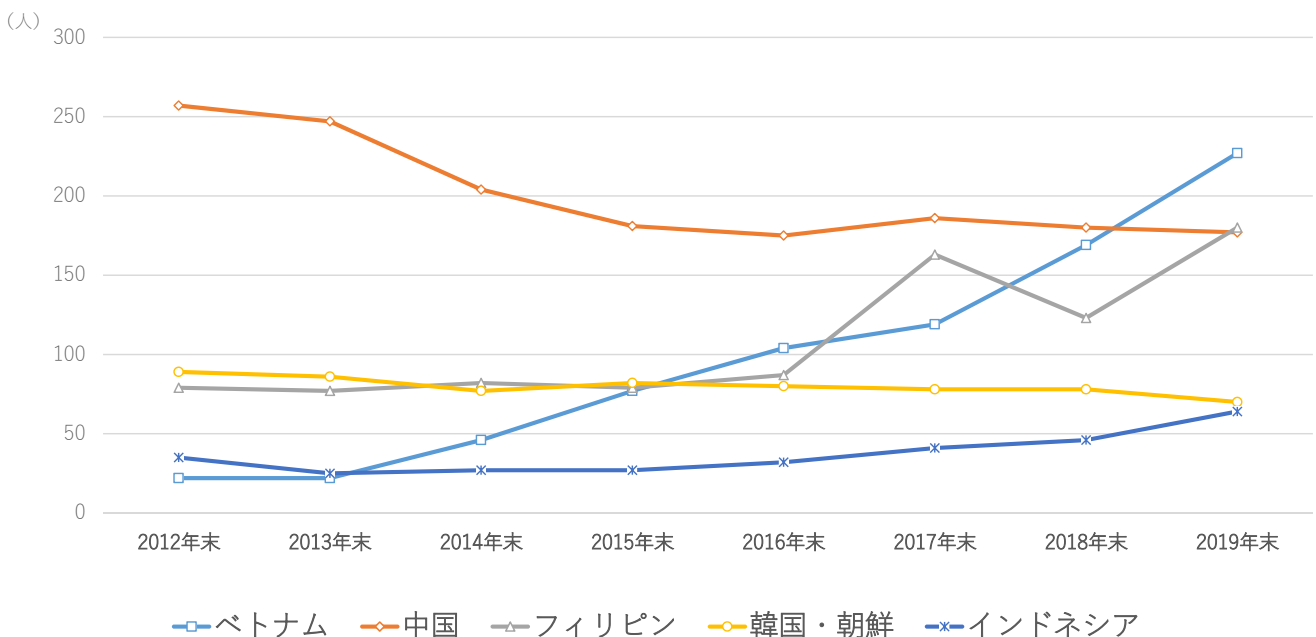
男女別年齢別外国人住民数 (住民基本台帳 2019年11月30日時点)



0-39歳の年齢層に限ってみれば、ほぼ50人に1人が外国人。女性の比率が全国平均より高い。

3

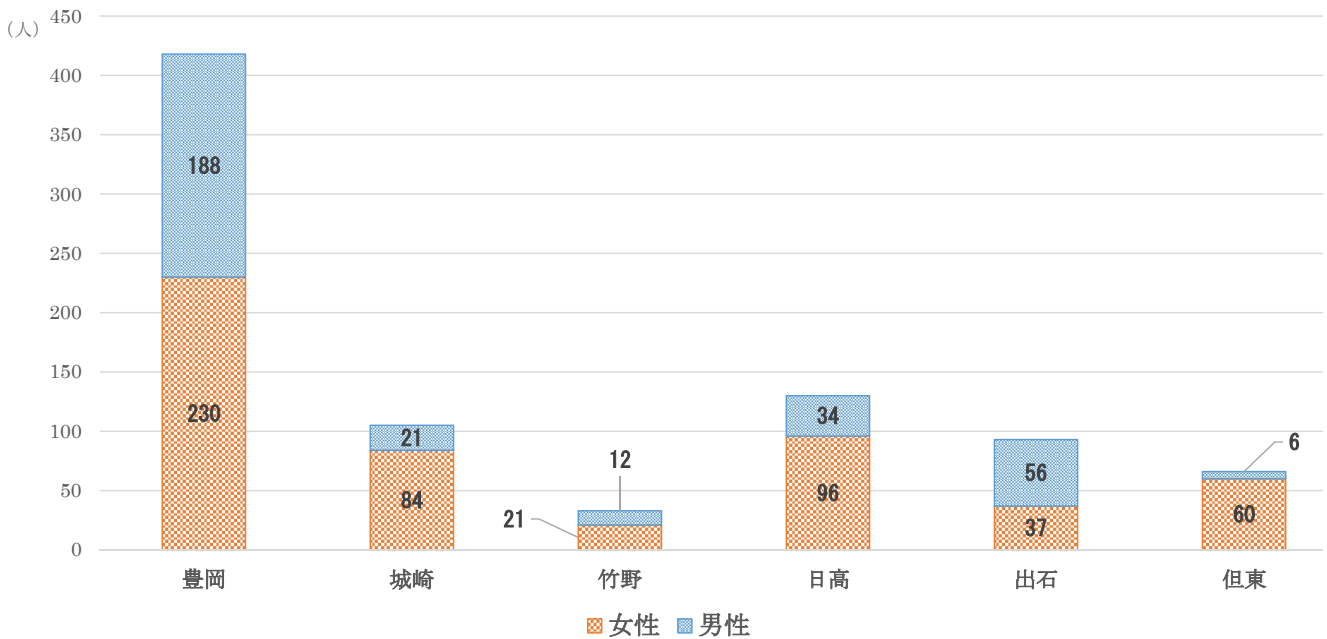
外国人住民数上位5ヶ国の推移 (住民基本台帳)



ベトナム、フィリピン、中国、韓国・朝鮮、インドネシア出身者が多く、約20カ国もの多彩な国籍の方が住んでいる。

4

地域別外国人住民数（住民基本台帳 2019年12月31日時点）



過半数が豊岡地域に住んでいる。城崎、日高、但東では女性の割合が高い。
 ※外国人比率は、城崎（3.14%）、但東（1.64%）の順で高い。

5

国籍・在留資格タイプ別外国人住民数 （住民基本台帳 2019年11月30日時点）

| | 外国人住民「短期」 | | | | 外国人住民「長期」 | | | 小計 |
|---------|-----------|------|----------|------|-----------|-----|------|-----|
| | 教育・専門職等 | 技能実習 | 特定活動・留学等 | 家族滞在 | 永住者・配偶者 | 定住者 | 特別永住 | |
| ベトナム | 21 | 183 | 12 | 2 | 14 | 0 | 0 | 232 |
| 中国 | 17 | 88 | 8 | 6 | 58 | 8 | 0 | 185 |
| フィリピン | 2 | 7 | 2 | 0 | 97 | 54 | 0 | 162 |
| 韓国・朝鮮 | 2 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 62 | 70 |
| インドネシア | 0 | 54 | 10 | 0 | 2 | 0 | 0 | 66 |
| 台湾 | 10 | 0 | 18 | 0 | 2 | 0 | 0 | 30 |
| タイ | 0 | 23 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 29 |
| 北米 | 9 | 0 | 0 | 2 | 4 | 0 | 0 | 15 |
| 中南米 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 2 | 0 | 7 |
| 豪州地域 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 6 |
| ヨーロッパ | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 5 |
| その他のアジア | 9 | 0 | 4 | 9 | 2 | 0 | 0 | 24 |
| 小計 | 77 | 355 | 54 | 20 | 199 | 64 | 62 | 831 |

- 技能実習生など、特定の職業や活動のため、1年～数年単位の期限で日本に住む人〔外国人住民（短期）〕
- 永住、定住などの資格を持ち、長期的に（または期限なく）日本に住むことが可能で、職業も選択できる人〔外国人住民（長期）〕

6

2 2019年度外国人住民に関する調査結果

(1) 外国人雇用事業所

- ア 質問紙調査で回答のあった327件のうち、40か所で雇用あり
- イ 業種：漁業、製造業（食品以外）、宿泊業等
- ウ 採用理由：全体の85%が「人手不足」
「外国人の能力が必要」との回答も
- エ 外国人雇用への満足度：95%と非常に高い。
- オ 今後の雇用予定：増員30%、現状維持80%
- カ 外国人雇用への支援策：
日本語教育、住居の整備・確保、交通段の整備・確保、行政手続きの支援、外国人相互交流の場の構築

7

(2) 外国人住民（短期） ※質問紙調査回答数272人のうち180人

- ・技能実習生、インターンシップ生が多い。
- ・20歳代が多い。
- ・仕事への満足度や住みやすさともにおおむね高評価
- ・日本人の友人がほしいという意見もある。
- ・約9割の人が本市に来てから日本語学習をしておらず、日本語能力が不十分
- ・来日の動機は、仕送り等の経済的なものだけでなく、自分のために遊学したいなどの様々な動機がある。
- ・SNSの時代
- ・継続して日本で働くことを希望する実習生がいる。留学希望もある。

8

外国人住民（短期）の多様性

（製造[機械、化学など]）

- ・規模の大きい事業所が他業種に比べて多い。
- ・仕事は生産ラインでの作業のため、**交代制勤務**が多い。
- ・技能実習生の過半は**寮生活**である。定住者（日系人）の働く事業所もある。

（観光宿泊）

- ・まちづくり機関を通じた**インターンシップ生**の採用が進み、その国籍は多様である。
- ・また通訳を兼ねる人、高度職業人材に相当する人などもある。**キャリアパスを意識して働く外国人**が多い。

（医療・福祉[介護など]）

- ・人数は相対的に少ないが、**今後増加する可能性**がある。
- ・多様な資格の外国人が働く。
- ・職場は高齢者介護施設のため、**日本語能力や専門性**が要求され、人材の確保は容易ではない。

（地場産業など）

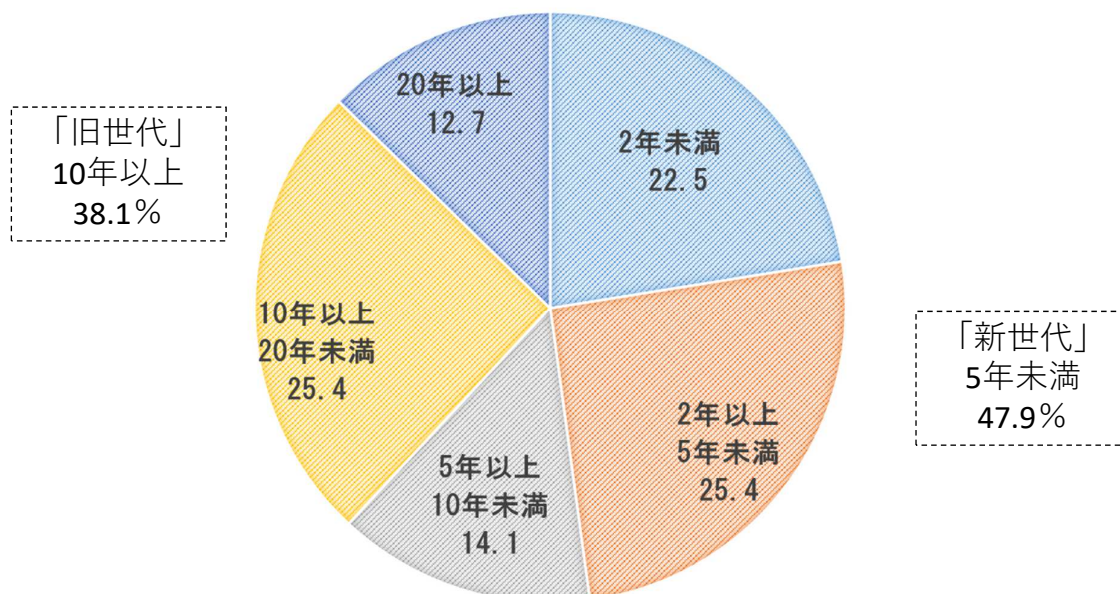
- ・漁業（津居山地区）、靴、食品加工
- ・漁業では、インドネシア人青年が、**乗る船を超えた共同生活**を送る。
- ・靴や食品加工では、技能実習生とともに結婚移住女性も多く、**両者の交流**がある。

9

（3）外国人住民（長期）

※質問紙調査回答数272人のうち85人

「旧世代」と「新世代」（ニューカマー）



豊岡市居住年数（%）※71人の内訳

- ・旧世代は主に国際結婚による移住者（ほとんどは女性）である。日本人配偶者、子ども、場合により配偶者の親と同居しながら、市内に10年以上住む定着度の高い人々。
- ・新世代は、約5年以内に、国際結婚に限らず多様な契機で市内に移住した人々で、流動性が高く、市外への転出の可能性も高い。日本語ができない人が4割強。
- ・国際結婚層はサポートすべき対象というだけでなく、2カ国語を操るグローバルな人材となり得る。

11

外国人住民（長期） 出身国・地域ごとの特徴

（中国人）

- ・ほとんどが日本人と結婚した女性で、「旧世代」と「新世代」に属す。
- ・技能実習で来日後に結婚、中国の大都市で日本人と出会って結婚など経路は多様。
- ・中国式教育への評価も高い。

（フィリピン人）

- ・女性の多くは「旧世代」で、豊岡市の国際結婚をリードし、地元で就労や子育てをする。
- ・男性の大半は「新世代」の日系フィリピン人である。工場で働くが、妻子帯同（予定も含む）者もいる。

（その他のアジア系）

- ・オールドカマーの韓国・朝鮮人は、配偶者選択を含めて日本人と強く繋がる。
- ・ベトナム人女性等は農村部に結婚移住し、子育て中。
- ・アジア系高学歴女性の結婚移住もある。

（非アジア系）

- ・50人を超える日系ブラジル人が約20年前に工場等で働いていたが、今はほとんどいない。
- ・欧米系住民（長期）も一定数住むが、多くは日本人との国際結婚である。
- ・男性の結婚移住者も相当数ある。

12

3 課題

- (1) **多様な外国人住民**の存在が知られていない。
正しく理解されていない。
- (2) **日本語能力**が不十分。日本語を学ぶ機会が
少ない。
- (3) 孤立している外国人住民がいる。
- (4) 地域（日本人）との交流が少ない。
- (5) 多様な文化的背景・語学能力をもつ**グローバル人材の活躍の場**が少ない。
- (6) **外国にルーツを持つ子ども**について、把握
が不十分

13

4 神戸大学からの政策提言

(1) 外国人住民に対するイメージの刷新を！

技能実習生、インターンシップ生などは経済的動機だけでなく、「自己実現」的動機で来豊した人も相当数ある。

また、国際結婚等で定住している方は2カ国語を操るグローバルな人材となり得る。

(2) 各自が能力を能動的に発揮できる環境の整備を！

地域社会において活躍しうる有能な人材の定住促進

(3) 外国人住民をめぐるネットワークの構築・情報の共有を！

災害対策ネットワークの構築・強化にもつながる。

14

2020年度以降の取組み

- 1 外国にルーツを持つ子どもの調査研究**
生活実態と子どもたちが抱える課題について、ヒアリング調査を実施
- 2 多文化共生を推進するための戦略策定**
外国人住民、関係機関、事業所、神戸大学、市等によるネットワークの構築や情報共有等を図り、ワークショップ等により戦略を策定する。
- 3 市広報で多様な外国人住民の暮らしを紹介**

15

第2期地方創生総合戦略の**新たな視点**

多様性を受け入れるまちづくり

→外国人住民との共生推進

外国人住民を「単なる労働者」でなく、地域や職場を支える一員として受け入れ、共生する施策を実施していく。

16